

第1号議案：平成26年度業務・事業報告（事務局・各部長）
【業務報告】

◎ コミ協業務報告（事務局長 池田 葵）	
区分	会議・活動等項目
i 三役会議	◎三役会議（開催17回/年間） 4月1回、5月1回、6月3回、7月2回、8月0回、9月2回 10月2回、11月3回、12月1回、1月0回、2月1回、3月1回
ii 役員会	◎役員会議（開催6回/年間） 4/26：後任会長推挙検討、青少年育成協議会会長大谷勇、副会長二宮正朋両氏推薦。 5/13：後任推薦、会長大谷勇、副会長佐藤昭、福祉部会長前川倫子 6/17：コミ協事業意図検討、研修会開催打合せ 10/29：「地域活性化計画」経過報告、構成団体代表会議打合せ 2/14：平成27年度活動補助金の改正説明 3/14：次期コミ協役員推薦
iii 自治会長会	◎自治会長会議&コミ協構成団体代表会議（開催4回/年間） 7/22：自治会長会議、市高齢者支援課講演、各分会事業経過報告 11/11：構成団体代表者会議、「地域活性化計画&宝物発掘」進捗状況報告。「いきいき西区支え合いプラン」次期計画 1/31：コミ協事業、各分会事業の経過報告。終了後 新年会開催 3/23：構成団体代表者会議、「地域活性化計画&宝物発掘」第2回報告、次期「取り組み事業」提案。コミ協への要請事項
iv 自治協議会	◎本会（開催9回/年間）、第1部会（研修、防災、除雪、西区ビジョンの検討）開催8回/年間、プロジェクトI（区政の有り方）開催2回/年間、推薦会議（自治協構成委員36人の選定）開催7回/年間。 7月1回、8月3回、9月3回、10月3回、11月3回、12月3回、1月4回、2月3回、3月3回
v その他の業務 (次頁へ続く)	◎研修・講習会・その他事項（16件/年間） 4/08：コミ協会長、事務局長会議 4/30：会計監査（高田、井川両会計監査役）、三役立会 5/24：「コミ協総会」&「区政懇談会」 5/26：住郷推進協議会「西地区支部総会」 6/22：コミ協研修会「区山本地域振興係長講演」&懇親会 7/05：市地域版津波避難計画作成検討会—12名参加

(前頁より) コミ協業務報告 (事務局長 池田 葵)	
区分	会議・活動等項目
(vその他の業務)	<p>7/09: コミ協一部地域に浸水注意例発令—真砂小に避難所開設準備</p> <p>7/31: 「地域活性化計画&宝物発掘」WS開催—NPO まちづくり会議</p> <p>8/28: 「いきいき西区支え合いプラン」地区懇談会—10名参加</p> <p>9/10: 県地域振興局「警戒避難体制の整備等取り組みについて」 コミ協地域内5カ所の地域設定説明。</p> <p>11/02: 9月末収集アンケートの集計、構成団体代表会議用資料作成</p> <p>12/13: 第1回「真砂地域まちづくり会議」、1/24第2回、 2/21第3回を実施</p> <p>1/25: 篠田市長と語る会—三役出席</p> <p>2/07~3/02: いきいき西区支え合いプラン6回開催</p> <p>2/07~3/04: 西区、区ビジョン「まちづくり計画」8回開催</p> <p>3/24: 坂井輪コミセン理事新任中村自由ヶ丘自治会長、評議員留任 下川スポーツ部会長(真砂1丁目自治会)両氏を推薦</p>

【事業報告】

① コミ協事業 (会長 大谷 勇)	
区分	会議・活動等項目
目的	<p>事業名: 「地域活性化計画と地域の宝物の発掘」</p> <p>目的及び内容 高齢化社会の伸展する中で、この地域をどのようにしていくのかをけんとうする。又、その起爆剤として地域の宝物の掘り起しや、搜索による地域活性化を模索する。</p>
i ワークショップ 7/31(木) 19:00~20:45	<p>◎NPO法人「まちづくり学校」の指導の下、ワークショップの手法により真砂コミュニティ協議会構成委員の意見集約。</p> <p>①真砂地区を「いいまち」にするために使えるものや伸ばしていく活動って何だろう?~真砂地区の地域資源を発掘する。(グループ検討課題)</p> <p>②真砂地区にとって「いい町」って何だろう5年後はこんなまちに住んでいたい(参加者個々にアンケートを依頼)</p> <p>開催場所: 坂井輪コミュニティセンター2F多目的ホール 参加人員: 41名(A~Eの5グループに区分)</p>
ii アンケート調査 8/01~9/30	<p>◎各自治会班長(組長)等を対象に「アンケート調査による意見集約」を実施。調査結果は各自治会長他参加者に配布。</p>
(次頁へ続く)	

(前頁より) コミ協事業 (会長 大谷 勇)	
区 分	会 議 ・ 活 動 等 項 目
iii 有識者会議	<p>◎地域内有識者を中心とした「真砂地域まちづくり会議」を設置。 ワークショップやアンケート調査の結果を参考に意見交換を行い、「地域活性化計画と地域の宝物発掘事業(素案)」(内容:具体的な取組と事業案)に対する説明を行って意見を求めた。</p> <p>①第1回会議 日時:平成26年12月23日、19:00~21:00 場所:真砂会館2F大広間 参加者:22名 (有識者委員):長谷川義明(前市長)、本田明治、伊藤彰子(真小PTA会長)、広川法副(民生委員会児童委員会地区会長)、滝澤由紀子(在宅介護センターはまゆう主任)、坂井孝(五十嵐中学校教頭)、長井卓也(真砂小学校教頭)、植木一範(明倫短期大学講師)以上8名。 (アドバイザー):山本幹彦(西区地域課地域振興係長)、鍋谷隆史(西区坂福祉協議会職員)、高澤真由美、梁取美佐子以上4名。 (コミ協役員):大谷会長以下10名。</p> <p>②第2回会議 日時:平成27年1月24日(土)19:00~21:00 場所:坂井輪コミュニティセンター2F多目的ホール 参加者:21名 (有識者委員)出席 8名 (アドバイザー) " 4名 (コミ協役員) " 9名</p> <p>③第3回会議 日時:平成27年2月22日(土)19:00~21:00 場所:坂井輪コミュニティセンター2F多目的ホール 参加者:22名 (有識者委員)出席 8名 (アドバイザー) " 4名 (コミ協役員) " 10名</p>
事業による成果及び今後の課題	<p>◎ “「地域活性化計画と地域の宝物の発掘」は平成26年度を初年度とする5か年計画策定により、当地域の今後の方向性が明示され、個性的で活気のあるまちづくりが期待できる。今後の課題は当計画実現に向けた積極的な活動が望まれることから地域全体での取り組みが肝要。</p>

② 福祉部会 (部会長 前川 倫子)

実施日付	会議・活動等項目
<p>8/20 (水) 13:30~16:30</p>	<p>事業名：世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家のマジックにより、謎解きに挑戦したり、お手玉、あや取り、折紙メンコ、おはじき、将棋、五目並べ、等のゲームで高齢者や、子供たちが一緒になって活動した。 開催場所：真砂会館 参加者：93名（高齢者34名、こども59名） <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業準備などの実施日 <ul style="list-style-type: none"> 5/24：総会での事業及び予算の承認。 6/05：部会で事業細部及び案内状の検討。 6/27：開催案内を各自治会に依頼する。 8/06：参加状況と当日の役割分担検討 8/20：世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」事業開催、反省会実施。 9/30：事業報告書の地域課地域振興係へ提出。 ・ 事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> マジック、ゲーム共に大好評であった。高齢者が子供達と触れ合う場面をとおして、生き生きしている姿が多く見られた。高齢者の生甲斐作りに資する目的は概ね達成した。 ・ 課題は今回特になし。
<p>9/13 (土) 13:00~17:00</p>	<p>事業名：真砂うきうき元気塾「うきうき元気に生きましょう」 高齢者の健康促進の為の講話やコーラスを通して体力・気力の増進に努めた。</p> <p>開催日時：平成26年9月13日(土) 開催場所：坂井輪コミュニティセンター2F 多目的ホール 参加者：80名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業準備などの実施日 <ul style="list-style-type: none"> 5/24：総会で事業及び予算の承認。 6/05：福祉部会で事業細部の検討、案内文の検討。 7/31：開催案内を各自治会に依頼する。 9/05：参加状況と当日の役割分担検討。 9/13：真砂うきうき元気塾「うきうき元気に生きましょう」開催反省会の実施。 9/30：実施報告書作成、提出。 ・ 事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> NAMARA 代表の講演を通じた笑い、男声コーラスグループによる歌声指導により、高齢者の体力・気力増進を図る事を目的に計画した物であるが、参加者の反応は好評であり、所期の目的は達成された。 ・ 課題は特になし。

③ 青少年健全育成部会 (部会長 本田 明治)

実施日付	会議・活動等項目
事業名 7/12(土) 09:30~11:30	【まさご体験教室】 ◎「こま回し・はねつき大会」 ・場所：真砂小学校 体育館 ・内容：こま・羽子板を色付けして遊ぶ。トーナメント大会も実施。 ・参加者数：約115名(真小児童76名、保護者・幼児・地域住民39名)
10/26(日) 09:30~11:30	◎「プレイゾーン」 ・場所：真砂小学校 体育館 ・内容：折り紙ヒコーキ大会・ペーゴマ・こま回し・皿回し・はねつき・お手玉など。 ・参加人数：250名(真砂小学校児童、教職員、保護者、地域住民等)
11/08(土) 09:30~11:30	◎たこあげ大会 ・場所：真砂小学校 図工室・視聴覚室・グラウンド ・内容：たこ作り及びたこあげ体験 ・参加人数：141名(真小児童82名・保護者・幼児・地域住民等59名)
通年	◎その他 ・「まさごわくわくスクール」(25回実施)に継続参加し、「あいさつ運動」を展開。 ・3月7日の「まさごわくわくスクール」でミニ運動会を実施(参加105名)
事業準備	【事業準備など実施日】 それぞれの事業前後に必要な応じ、準備、反省会を行い、平成27年3月に実施報告書の提出を持って事業の終了とする。
成果	【事業による成果】 ・「こま回し・はねつき大会」「たこあげ」共に昨年度も実施した内容であったが、連続参加児童も多く、ゲーム形式を取り入れる事により、予想以上に盛況であった。「たこあげ大会」は学校グラウンドの芝生化により、より快適な環境となった。 ・「プレイゾーン」は折り紙ヒコーキ大会をメインイベントにして子供達のみならず熱心に取り組むお父さん達の姿が多数みられた。 ・自治会回覧に加え「NICまさご」エリア情報スケジュール表の裏面に案内を掲載して頂いた。地域の参加者の増加傾向がみられた。
課題 (次頁へ)	【今後の課題】 ・準備段階で多くの遊具類の保管場所の確保が困難であった。 ・ごみは昨年度に比べ減少したが、更に減らす努力が必要である。 ・全行事共に遊具類を絞った為、終止がつかない状況は殆どなかった。 ・参加者数を読む事は難しい。(事前申し込み以外の当日参加者も受け付けている)

(前頁より) ③青少年健全育成部会 (部会長 本田 明治)	
実施日付	会 議 ・ 活 動 等 項 目
アンケート	<p>【その他】</p> <p>「あいさつ運動」のアンケートを3月7日の「まさごわくわくスクール」で児童を対象に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答数 50通 <p>挨拶運動を知っていた児童は40%弱で今後周知度を上げていく必要が有る。あいさつは80%弱の児童が日常的に行っており、50%以上の児童が“これから挨拶を進んでしていきたい”と思っていることが分かった。但し10%前後の児童が“あいさつは苦手”で今後も余りしたくないと考えており、対策を考えていく必要が有る。</p>

④ 文化部会 (部会長 白島 達彦)	
区 分	会 議 ・ 活 動 等 項 目
事業1	<p>◎ 第6回写真教室</p> <p>会場：坂井輪コミュニティセンター1Fフロア 参加者：25名 講師：フジカラー・アウラ企画課長 田中 英司氏</p> <p>過去の取り組みへの参加者を期待し、講師に「講義のレベルアップ」をお願いした。当日は期待通り、各種フォトコンテストの作品を見ながら優秀作品の観賞に加え、各作品の優れている点・評価点などの指導が有って、明日にでも役立つアドバイスに全員が満足した教室だった。</p>
事業2	<p>◎ 撮影会</p> <p>会場：坂井輪コミュニティセンター2F多目的ホール 参加者：28名 講師：モノクローム新潟社長 原澤 秀明氏</p> <p>初の撮影会と言う事で、参加者の撮影姿を見ながらの具体的アドバイスを期待して、室内の花の撮影会にした。撮影後メモリーの映像を拡大して、構図や撮影アングルなどの指導が有り、次回は屋外での企画に期待が高まった。</p>
事業3	<p>◎ 真砂小学校文化祭協賛「写真と絵てがみ展」</p> <p>会場：真砂小学校2階教室 参加者：250名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真教室、撮影会に参加された方々の作品や日頃撮り貯めた傑作、そして世界を巡ってとらえた文化遺産と東日本大震災の記録と言うこれまでに例のなかった出品の見応えのある展示だった。 ・絵てがみグループの作品は、毎月の例会で描かれた作品のほか、特技を生かした手芸品が参加者の目を和ませてくれた。
事業4	<p>◎ 文化講演会 テーマ「少子高齢化時代を どう生きるか？」</p> <p>会場：坂井輪コミュニティセンター2F多目的ホール 参加者：82名</p> <p>西区地内で特に高齢化率の高いこの地区に生活する私たちにとってどう言う事に留意して日々を送れば良いか。今回は人生の最後を迎えた時、お通夜から火葬までの経費をどれ位見積もれば良いかを時々ユーモアを交えての講話であった。必要以上に経費をかける事はないのでは？それよりも…と言うお話に受け止めた。</p>

⑤ スポーツ部会 (部会長 下川 信也)

実施日付	会議・活動等項目
4/06~ 7/31の 日曜日早朝	<p>◎ 真砂・松海が丘連合町内対抗リーグ戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：真砂小学校グラウンド（芝生施行工事に入るまで） ・競技：6チーム（真砂1, 2, マリン、松海が丘1, 2, 3）による総当たりリーグ戦 21試合 ・戦績：優勝 真砂1、準優勝 松海が丘3
8月17日 8月31日	<p>◎ 日報杯・信金杯30周年記念トーナメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：黒埼「緑と森の運動公園野球場」 ・競技：6チーム（真砂1, 2, マリン、松海が丘1, 2, 3）によるトーナメント決勝大会 ・戦績：優勝 真砂1、準優勝 真砂2 <p>表彰 既述大会各優勝チームメンバーより、最優秀選手賞1名、準優勝チームより敢闘賞のトロフィーがコミ協より授与された。</p>
10月26日 09:00~12:00	<p>◎ 平成26年度グラウンドゴルフ大会</p> <p>気温21℃、無風、秋晴の好天に恵まれ、3ラウンドを実施。和気藹々の内に団体優勝を目指して熱戦が展開された。丁度真砂小学校の文化祭と重なり、参加者が昨年（8チーム）より減となった。日程調整は充分注意すべき。当日は個人参加者は皆無だった。広報に問題が無かったのか？課題として残った。</p> <p>会場：西総合スポーツセンター多目的広場 参加人員：5チーム20名+講師・役員 戦績：団体優勝 松海が丘スターズ（松海が丘1, 3）、2位 真砂オールドパーズ（真砂2）、3位 真砂ジャイアンツ（真砂1） 個人優勝 大倉睦夫（松海が丘3）、2位 笠谷良弘（松海が丘1）</p>
10月2日 9:24スタート	<p>◎ 第1回真砂コミ協町内対抗ゴルフ大会</p> <p>当日は秋晴の好天に恵まれ両コースから同時スタートした。試合後の表彰式で、優勝カップは晴海ヶ丘チームに授与され会は大いに盛り上がった。</p> <p>参加者一人一人からユーモアを含めたコメントも有り、初対面同志とは思えない親睦・交流の実が図られ、地域の活性化を果たした。</p> <p>会場：フォレストカントリー倶楽部 西OUT、IN同時スタート 参加者：7組28名、表彰式：坂井輪コミュニティセンター</p>
2,3月に 2回実施	<p>◎ 太極拳体験講習会</p> <p>会場：西総合スポーツセンター 指導者：日本太極拳連盟公認指導員 山田 弘 氏 内容：バランス感覚と下半身の筋力を鍛え身体全体の血流を良好な状態に保持出来る様丁寧なストレッチと本番の難しい手足の動きに挑戦した。参加者は少なかったが、目の届く指導が出来た。（指導者談）</p> <p>1 第一回目：平成27年2月13日（金） 参加者：17人 2 第二回目：平成27年3月13日（金） 参加者：7人</p> <p>課題：指導員の仕事の関係で、土・日の開催は不可で、日程調整に難しさが有る。</p>

⑥ 交通安全・防犯部会（部会長 臼杵 健一）	
区分	会議・活動等項目
事業1	◎交通安全パトロール：小学校通学道路に立ち、学校前まで同行する。 年間を通じて実施した。 交通安全週間—春—4月7日～4月11日 —秋—9月2日～9月6日
事業2	◎地域パトロール：夜の地域防犯パトロール、街灯の状況点検 実施時期—5月11日（日）、9月21日（日）の2回
事業3	◎夏場の海岸パトロール：小針浜他、夕日コンサート付近の防犯、青少年の補導 小針浜パトロール—8月2日（土）、夕日コンサートパトロール—8月9日（土）
事業4	◎地域内「公園」パトロール：児童の遊び行動の注視、遊具等の安全確認 中央公園地域—9月7日（日）、まつりパトロール—8月2日（土）
事業5	◎青色パトロール：交通安全、防犯パトロール（年間実績31回）
成果、課題	1、道路の歩道が無い個所がこの地域に多い。安全誘導に苦慮している。幸い子供の事故は発生していないが、高齢者事故の発生が増えて来ている。 402号線は歩道区分が白線でしかなく、歩行者、自転車が一緒に危ない。 自転車人身事故防止策を考えなければならない。

⑦ 生活環境部会（部会長 根本 修一）	
区分	会議・活動等項目
事業1	事業名：生活環境部会平成26年度計画（その1）「海岸線・飛砂対策」 実施期間：平成26年5月1日～平成27年3月28日 事業内容：①平成26年12月10日、なぎさのふれあい広場で勉強会～20名 その後現場視察。 ②平成27年3月28日、午後1時半より「ハマニク」植栽—なぎさのそだて隊 Part5。関係者50余名が参加した。 事業による成果： 成果としては、今年度は従来と異なる飛砂対策として「402号線から海側へ大きく後退して「砂」で土手を作り、その両面に植栽をする」と言う方法で対応した。 飛砂の抜本的対策が求められている中、一歩前進でありその成果は来春どのように飛砂が抑止されているかが楽しみである。 今後の課題：民有地を含め南側にどのように対策を進めるか？である。大いなる自然相手の事業であるので、試行錯誤しながら根気良く継続する事である。
事業2 (次頁へ)	生活環境部化・防災部会共催：「バスによる福島県郡山市視察」～参加者17名 コミ協地域での報告会：11月11日「構成団体代表会議」上、於坂井輪コミセン

⑦生活環境部会（部会長 根本 修一）	
区分	会議・活動等項目
事業2	<p>成果：・マスコミ報道範囲しか知り得なかったが、被災者の「仮設住宅の視察」と「生の声」を聴いて“原発事故は地域（自然）も社会も全部破壊し、修復出来ない事”・オール福島の願い“復旧・復興は先が見えず、未だ12万人も避難生活を余儀なくされている事”・原発の安全神話は完全に崩れた事。以上の様な事で認識を新たにしました。国策として進めてきた原発に「国・東電」は責任を持って被災者救済、復旧・復興に万全を期する必要が有る事を痛感。国民の一人一人が「原発事故」の教訓をしっかりと得る事の大切さを実感した。</p> <p>今後の課題：・新潟にも原発が有るのでしっかりと既述教訓を生かすこと。・当地での予想される各種の災害対策の強化を進める事。</p>

⑧ 広報部会（部会長 小林 知昭）	
区分	会議・活動等項目
年間を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・第17号、18号「コミ協だより」の発行 ・実施場所：各部会の活動場所において、部会員による取材活動（主に写真撮影）
第17号	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だより第17号の印刷部数：4, 300部 ・編集会議（3回）8月6日、9月4日、9月17日
第18号	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷発注 9月22日、「コミ協だより第17号」配布・送付 10月3日 ・コミ協だより第18号の印刷部数：4, 300部 ・編集会議（2回）2月12日、3月5日 ・印刷発注 3月16日、「コミ協だより第18号」配布、送付 3月25日
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全世帯に配布し真砂コミ協の活動内容を多くの方々に読んで頂ける事を期待し実施した。 ・コミ協の活動内容、及び各自治会、団体の活動等を各位にお願いしながら記事等を収集し、より良い内容の「コミ協だより」にして行きたい。

⑨ 防災部会（部会長 中村 健三郎）	
実施日付	会議・活動等項目
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会を構成する自治会による事例発表会。この発表会を通して、各自治会の防災に対する意識の向上を図った。
6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・「頑張ろう東北」郡山へ視察、研修会に参加。生活環境部会との共催で後日（11月11日コミ協構成団体代表者会議で）発表会を開催
平成27年 3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字防災啓発セミナー開催 参加者：60名 “災害時対応の応急防災グッズの実演を行う。”
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会が地域に即応した体制と防災計画・訓練等を実施する為の手助けが出来たと思います。今後は地域の住民に役立つ講演会、実演会を計画、実施したい。